

年間授業計画

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 国語 科目 文学国語

教科：国語 科目：文学国語 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 1組～6組

教科担当者：（1組：和泉）（2組：和泉）（3組：和泉）（4組：保坂）（5組：保坂）（6組：保坂）

使用教科書：（大修館書店「新編 文学国語」）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】古典単語その他、古語における活用のある自立語に注意して本文を読むことができる。

【思考力、判断力、表現力等】古典常識を背景に、文章の内容を理解することができる。

【学びに向かう力、人間性等】興味・関心をもって授業に取り組むことができる。

科目 文学国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・古典特有の単語や活用語の活用形に注意しながら本文を読むことができる。 ・古文や漢文を読むために必要な古典常識や語彙を身につける。	・古典常識を背景として、登場人物の行動の理由や筆者の考えを理解することができる。 ・文章が成立した背景をもとに作品を読むことができる。	・興味・関心をもって授業に取り組み、作品が書かれた時代と自身を結びつけて考えることができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準				知	思	態	配当 時数
			話	聞	書	読								
1 学 期	A 単元「手のわろき人の」 【知識及び技能】 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・鎌倉時代を生きた筆者の日常に考えを巡らせながら本文を読もうとしている。	○本文を間違えずに音読させる。 ○本文の意味を詳細に理解させる。 ○筆者の考え方や感じ方を理解する。	○			○	【知識及び技能】 ○本文を間違えずつかえずに読むことができる。 ○古語辞典を使い、本文の意味を詳細に理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ○筆者のものの見方、感じ方、考え方を理解している。 ○古典文法の知識を本文理解につなげている。 【学びに向かう力、人間性等】 ○興味・関心をもって授業に取り組み、作品が書かれた時代と自身を結びつけて考えることができる。			○	○	○		6
	B 単元「行く河の流れ」 【知識及び技能】 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品が成立した背景に興味・関心をもちながら本文を読もうとしている。	○本文を間違えずに音読させる。 ○本文の意味を詳細に理解させる。 ○筆者の考え方や感じ方を理解する。	○			○	【知識及び技能】 ○本文を間違えずつかえずに読むことができる。 ○古語辞典を使い、本文の意味を詳細に理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ○筆者のものの見方、感じ方、考え方を理解している。 ○古典文法の知識を本文理解につなげている。 【学びに向かう力、人間性等】 ○興味・関心をもって授業に取り組み、作品が書かれた時代と自身を結びつけて考えることができる。			○	○	○		7
	定期考査										○	○	○	1
	C 単元「忠度都落ち」 【知識及び技能】 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品が成立した時代に生きた人々に興味・関心を持ち、共感や批判をしながら本文を読もうとしている。	○本文を間違えずに音読させる。 ○本文の意味を詳細に理解させる。 ○登場人物の行動の理由を考えさせる。	○			○	【知識及び技能】 ○本文を間違えずつかえずに読むことができる。 ○古語辞典を使い、本文の意味を詳細に理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ○『平家物語』が持つ仏教的無常観を基礎として忠度の心情を理解している。 ○古典文法の知識を本文理解につなげている。 【学びに向かう力、人間性等】 ○興味・関心をもって授業に取り組み、作品が書かれた時代と自身を結びつけて考えることができる。			○	○	○		8
	D 単元「能登殿最期」 【知識及び技能】 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品が成立した時代に生きた人々に興味・関心を持ち、共感や批判をしながら本文を読もうとしている。	○本文を間違えずに音読させる。 ○本文の意味を詳細に理解させる。 ○登場人物の行動の理由を考えさせる。	○			○	【知識及び技能】 ○本文を間違えずつかえずに読むことができる。 ○古語辞典を使い、本文の意味を詳細に理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ○『平家物語』が持つ仏教的無常観を基礎として能登殿の心情を理解している。 ○古典文法の知識を本文理解につなげている。 【学びに向かう力、人間性等】 ○興味・関心をもって授業に取り組み、作品が書かれた時代と自身を結びつけて考えることができる。			○	○	○		8
	定期考査										○	○	○	1

